

ニカラグア定期報告（2019年7月）

【要旨】

内政面では、ニカラグア政府は、市民同盟との国民対話が終了したとの見解を示す書簡を発出した。また、外交面では、イラン外相が当国を訪問した他、モンカダ外相が、トルコ、セルビア、エチオピア等を歴訪した。

【主な出来事】

1 内政・外交

(1) 政府と市民同盟

ア 8日、ニカラグア税関局(DGA)は、エル・ヌエボ・ディアリオ紙(当国有力市中銀行Banproを擁するPromericaグループの新聞社であり、同グループは、以前は、政府と経済政策実施に関して事前協議を行うなど政府に対して中立的であったが、2018年4月の騒動が始まって以降は政府との関係が悪化していた。)に対して、2018年9月以降中断していた同紙への新聞用紙等の消耗品引き渡し手続を再開した。今般、DGAは留め置いていた消耗品のうち、輸入手続中の全新聞用紙の20%に当たる9.6トンの用紙の他、インク15バレル、印刷板6,000枚、印刷に用いる化学薬品の全てを同紙に引き渡した。

イ 18日、市民同盟は、政府との対話の再開を要請し、31日に当地中米大学院(INCAE)での会合開催を求める書簡を政府代表であるモンカダ外相に送付した旨公表したが、対話が再開されることは無かった。

ウ ニカラグア政府は、30日、アルマグロOAS事務総長宛書簡を発出し、対話の場から市民同盟が退出したため、ニカラグアにおける国民対話が終了したとの見解を示した。

(2) ニカラグア情勢にかかるドイツ政府の動き

1日、当国を訪問したアンネン・ドイツ外務副大臣が、オルテガ大統領、市民同盟メンバー等と個別に会合を行い、また、両勢力の衝突の場となったマナグア市内教会等を視察した。今次会合の後、報道機関のインタビューを受けた同外務副大臣は、政治的解決及び対話再開の機運が失われてはいない点の評価し、真の和解に向けた合意が数ヶ月で達成されることは無いとの見解を示した。また、ドイツ政府は、紛争の仲介人ではないが、両勢力の橋渡し役としてメッセージを一方から他方に伝達する形での支援をする用意がある旨述べるとともに、ドイツはニカラグア政府に対する制裁を支持する状況にはなく、同副大臣自身がニカラグア政府への制裁をEUに提案する立場には無いと表明した。

(3) モンカダ外相の外遊

モンカダ外相は、24日、トルコを訪問し、チャヴシュオール・トルコ外相と会談し、二国間問題等について協議した。また、25日～27日には、セルビアにおいてブルナビッチ・セルビア首相、ダチッチ同第一副首相兼外相他と懇談し、協力関係や投資、通商など幅広いテーマについて話し合った。同外相は、29日には、エチオピアを訪問し、Josefa Leonel Correia Sacko アフリカ連合議長代理と懇談、また、30日には、アンダルガチョウ・エチオピア外相と両国間関係強化のための話し合いを行った。

(4) その他

ア 6日、オルテガ大統領は、マナグア市から隣のマサヤ市に向かって例年通り5時間かけて40周年の革命記念の行進（「レプリエゲ」：最終的なマナグア市陥落の勝利の前に一時的にマナグア市からマサヤ市に撤退した歴史的偉業）を実施した。

イ 13日、米国及びカナダ政府による当国政府高官への制裁の影響を最小限に抑えるために、行政府高官及び国会議長の権能を他者に移行する2つの法令改定案が、緊急動議により当国国会にて可決された。法改定の概要は以下のとおり。なお、これらの法改定は、15日、官報にて公布され発効した。

①立法府基本法法令第606号の改定（法令第998号）

成立した法令・政令・決議・宣言への署名の権限を、国会議長の職責から国会第一書記へ移行する。

②行政府機構・権能・手続法法令第290号の改定（法令第999号）

当国大統領は、必要に応じて各省の大臣及び次官をそれぞれ2人以上任命することができることとする

ウ 19日、マナグア市内において、サンディニスタ革命40周年記念式典が盛大に挙行され、オルテガ大統領、ムリージョ副大統領、アナトリ・ビビロフ南オセチア大統領、サルバドル・バルデス・キューバ副大統領、デルシー・ロドリゲス・ベネズエラ副大統領他が参席した。

エ 21日～22日、モハンマド・ジャヴァード・ザリーフ・イラン外相が、ニカラグアとイランの友情、協力、通商及び両国の関心事項にかかる関係強化のために当国を訪問し、オルテガ大統領、ムリージョ副大統領、ポラス国会議長及び同執行部メンバー、モンカダ外相、アコスタ財務・公債大臣、ソロルサノ勸業・産業・通商大臣、レジエス中銀総裁、ラウレアノ・オルテガ・ニカラグア投資振興機構（PRONicaragua）投資顧問、フランシスコ・ロペス元石油公社（Petronic）総裁等と懇談した。

オ 26日付官報は、同日付で、カストロ保健大臣を新設ポストである保健問題担当大統領顧問（大統領府所属で閣僚レベル）に、また、カロリナ・アスンシオン・ダビラ・ムリージョ前保健次官を保健大臣に任命する旨伝えた。なお、カストロ氏は、6月21日に米国による制裁対象となった人物。

カ 29日付官報を以て、フランシスコ・ロペス元石油公社（Petronic）総裁が、生産・通商問題担当大統領顧問に、また、マレンコ総括外務次官が同職位を保ったまま国際関係担当大統領顧問に任命された。

キ 15日、ニカラグア政府は、官報3119号により、マウリシオ・フネス元エルサルバドル大統領及びその家族（妻 Ada Mitchell Guzman Siguenza, 子息 Carlos Funes, Diego Funes）にニカラグア国籍を付与、30日よりその効力を発した。

2 経済

（1）中米・英国連携協定の署名

18日、当地にて、中米各国の経済・通商関連大臣等（当国からは、ソロルサノ勸業・産業・通商大臣が出席）及びロス・デニー駐コスタリカ英国大使出席のもと、中米・英国連携協定の署名が行われた。右協定は、EU・中米連携協定によって規定されている貿易特恵を、中米各国と英国の間で維持することを可能にし、中米と英国間の協力・経済関係の強化を目的とする。

（2）16品目の輸入免税の撤廃

7月末、ニカラグア政府は、食用油、缶詰燻など16品目の輸入免税の撤廃を命じた。

<主要経済指標>

	2017年	2018年	2019年		
			5月	6月	7月
インフレ率（対前年同月）	5.7%	3.9%	6.0%	5.6%	6.1%
貿易収支（百万ドル）	▲3,049.5	▲2,312.4	未発表	未発表	未発表
輸出 FOB（百万ドル）	2,548.3	2,516.9	未発表	未発表	未発表
輸入 FOB（百万ドル）	5,597.8	4,829.4	未発表	未発表	未発表
海外送金受取額（百万ドル）	1,390.8	1,501.2	144.0	134.3	未発表
外貨準備高（百万ドル/期末）	2,757.8	2,261.1	2,145.1	2,194.5	2,183.9

（出典：ニカラグア中央銀行）

（了）